



プリメインアンプ

A-U671

取扱説明書



ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(18～20ページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

目次

はじめに.....	2
本機でできること.....	2
付属品.....	2
各部の名称とはたらき.....	3
前面（フロントパネル）.....	3
背面（リアパネル）.....	5
リモコン.....	6
接続.....	8
外部再生機器を接続する.....	8
スピーカーを接続する.....	8
サブウーファーを接続する.....	9
電源に接続する.....	9
再生.....	10
再生する.....	10
パソコンに保存された音楽の再生（USB DAC 機能）.....	11
好みの音に調節する.....	13
故障かな？と思ったら.....	14
主な仕様.....	17
安全上のご注意.....	18

はじめに

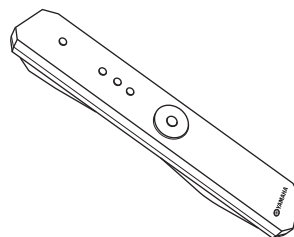
本機でできること

- ◆ 本機は、アナログステレオ信号を高音質で再生するプリメインアンプです。スピーカーと組み合わせることで音楽を高音質で再生できます。
- ◆ 前面の調節つまみで TREBLE（高音）、BASS（低音）、BALANCE（左右バランス）をお好みに調整できます。
- ◆ USB DAC 機能により、パソコンに保存された音楽を再生できます（[P.11](#) ページ）。
- ◆ PURE DIRECT 機能により、高音質で音楽を再生できます（[P.13](#) ページ）。
- ◆ サブウーファーを接続できます（[P.9](#) ページ）。

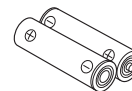
付属品

ご使用前に、付属品を確認してください。

リモコン

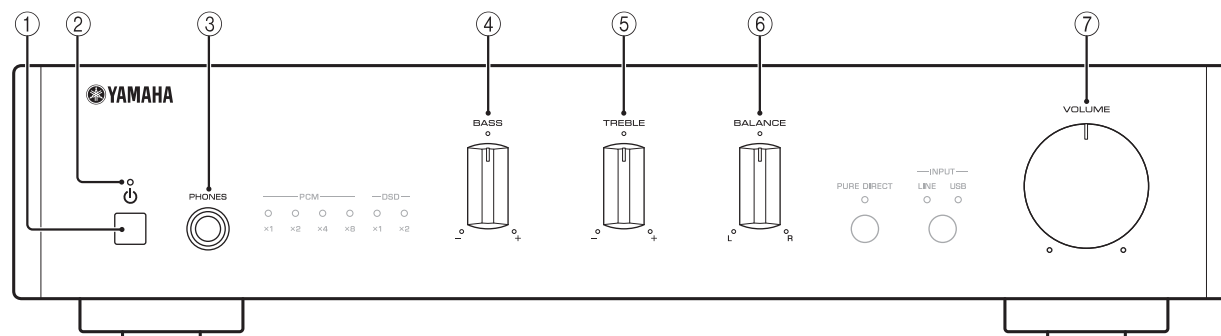


単3乾電池（2本）



各部の名称とはたらき

前面（フロントパネル）



① 電源ボタン

本機の主電源をオンとスタンバイで切り替えます。

ご注意

スタンバイ時には、少量の電力を消費しています。

② パワーインジケータ

本機の電源をオンにすると点灯します。

③ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ご注意

ヘッドホンを接続している場合は、スピーカーやサブウーファァーから音は出ません。

④ BASS (低音) 調節つまみ

低音特性を増減します。
コントロール範囲：-10 dB ~ +10 dB

⑤ TREBLE (高音) 調節つまみ

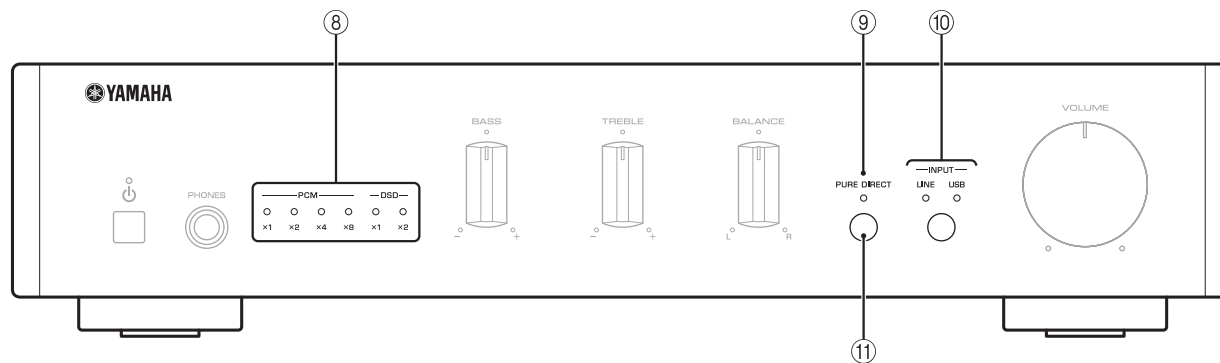
高音特性を増減します。
コントロール範囲：-10 dB ~ +10 dB

⑥ BALANCE 調節つまみ

左右のスピーカーのオーディオ出力バランスを調整することで、スピーカーの位置や室内の条件による音のアンバランスを補正します。

⑦ VOLUME コントロール

音量を調節します。



⑧ USB DAC インジケーター

本機の USB 端子に音声信号が入力されると点灯します (P.12 ページ)。

⑨ ビュア ダイレクト PURE DIRECT インジケーター

すべての入力ソースにおいて、ストレートで高音質な音楽再生が楽しめます (P.13 ページ)。

PURE DIRECT 機能がオンのとき、インジケーターが点灯します。

⑩ インプット INPUT(入力) ボタン / インジケーター

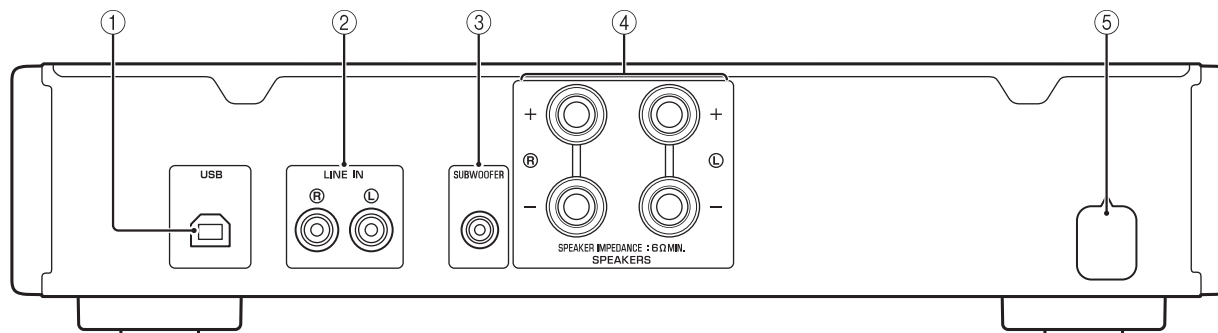
ボタンを押すたびに、LINE と USB が切り替わります。選択した入力ソースのインジケーターが点灯します。

ボタンを長押しすると、PURE DIRECT 機能のオン / オフが切り替わります。

⑪ リモコン信号受光部

リモコンからの信号を受信します。

背面 (リアパネル)



① USB (Type B) 端子

パソコンを接続します (☞8 ページ)。

② ライン イン LINE IN 端子

外部再生機器を接続します (☞8 ページ)。

③ サブウーファー SUBWOOFER 端子

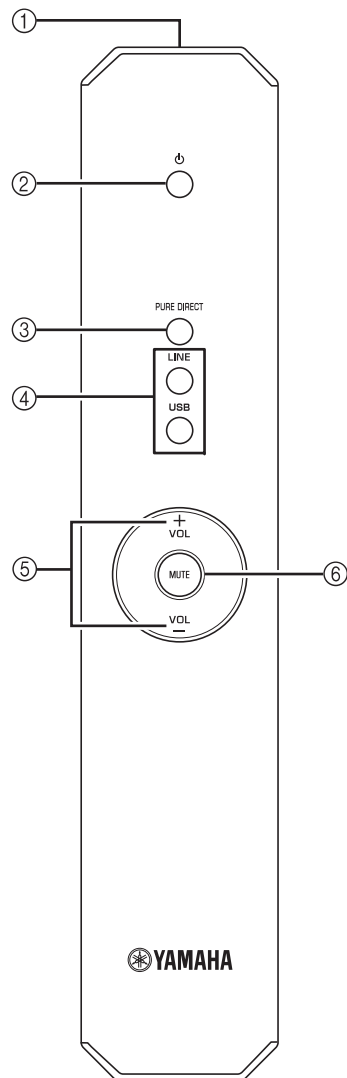
アンプ内蔵サブウーファーを接続します (☞8 ページ)。

④ スピーカー SPEAKERS 端子

スピーカーを接続します (☞8 ページ)。

⑤ 電源コード

リモコン



① 赤外線送信部

リモコン操作の赤外線信号を送信します。

② 電源

本機の電源をオンとスタンバイで切り替えます。

③ ピュア ダイレクト PURE DIRECT

すべての入力ソースにおいて、ストレートで高音質な音楽再生が楽しめます (P.13 ページ)。

④ 入力選択ボタン

再生する入力ソース (LINE または USB) を選択します。

⑤ VOL + / -

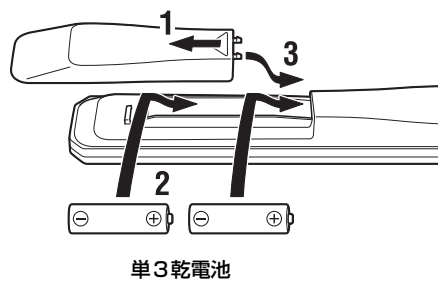
音量を調節します。

⑥ ミュート MUTE

音量が現在のレベルから約 20dB 低下します。再度押すとオーディオ出力の音量は元のレベルに戻ります。リモコンの VOL + / - を押すと、ミュート機能は解除されます。

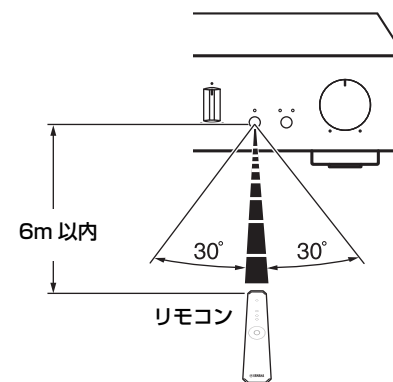
MUTE 時は、フロントパネルの選択した入力ソースの INPUT インジケータが点滅します。

■ 乾電池を入れる



■ リモコンの使いかた

操作するときは下記の範囲で本機のフロントパネルのリモコン受光部にまっすぐに向けてください。



ご注意

- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。

接続

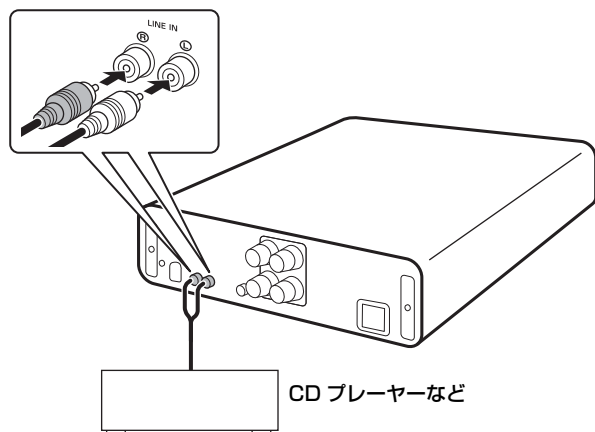
左チャンネル (L)、右チャンネル (R)、+ (赤)、- (黒) をよく確認して、正しく接続してください。接続が間違っていると、スピーカーから音が出ない場合があります。また、極性が間違っていると、音が不自然に聞こえたり低音が聞こえないことがあります。その他の機器に付属している取扱説明書もご覧ください。他の機器との接続には端子の形状に応じて RCA タイプのピンケーブル、市販の USB ケーブルを使用してください。

重要

すべての接続が終わるまで、本機や本機に接続した機器の電源コードを家庭用コンセントに差し込まないでください。

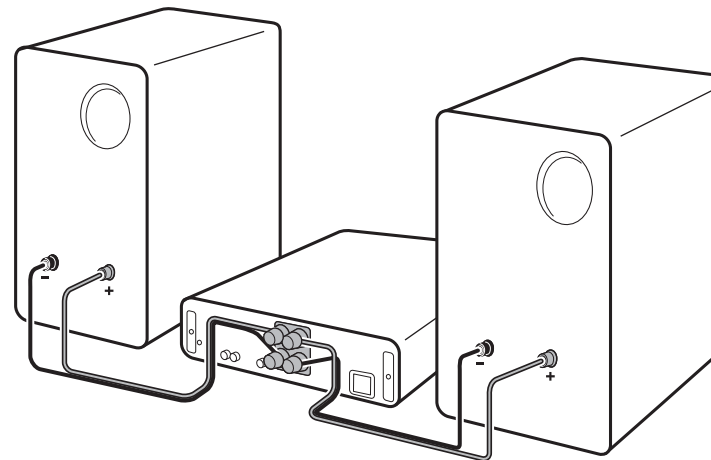
外部再生機器を接続する

接続する外部再生機器のアナログ音声出力端子と、本機の LINE IN 端子を図のように接続してください。



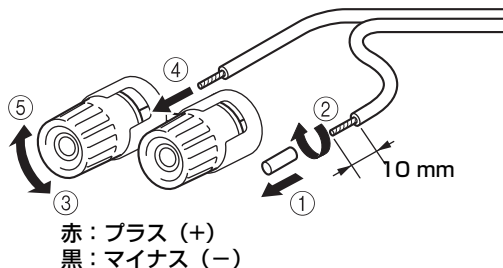
スピーカーを接続する

本機の SPEAKERS 端子と、スピーカーの端子を図のように接続してください。



■ スピーカーケーブルを接続する場合

- ① スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を約 10 mm はがす。
- ② 芯線をしっかりよじる。
- ③ スピーカー端子を左に回して、ゆるめる。
- ④ スピーカー端子の穴に、スピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ⑤ スピーカー端子を右に回して、しめる。

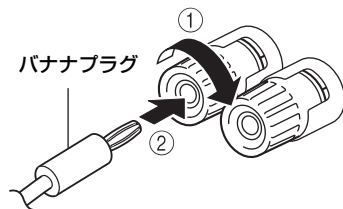


重要

- 接続するスピーカーは、インピーダンスが 6Ω 以上のものを使用してください。
- スピーカーケーブルの裸線部は、他のスピーカーケーブルの裸線部または本機の金属部分とは接触させないでください。本機やスピーカーが損傷することがあります。

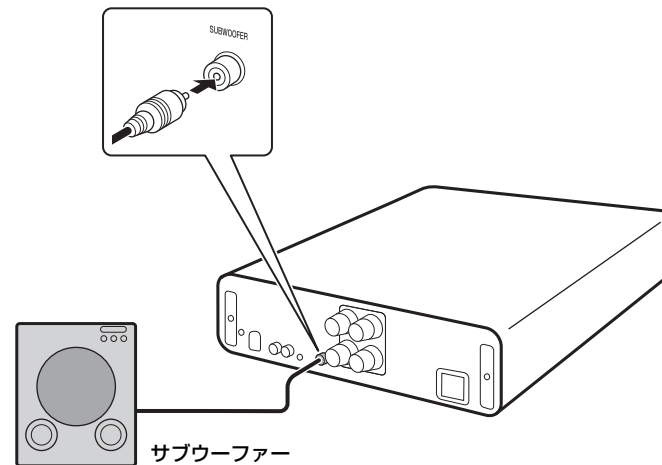
■ バナナプラグを使用する場合

- ① 端子を強くしめる。
- ② バナナプラグを端子に差し込む。



サブウーファーを接続する

サブウーファーを使用する場合は、本機の SUBWOOFER 端子と、サブウーファーの端子を図のように接続してください。

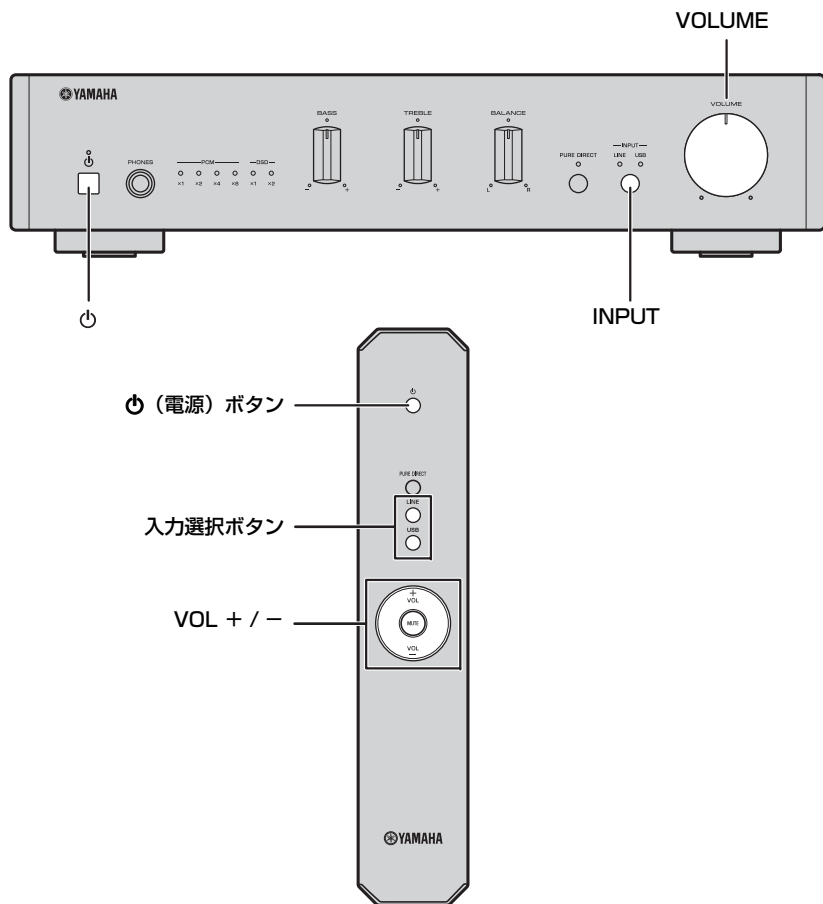


電源に接続する

すべての接続が終了したら、コンセントに本機の電源プラグを接続します。

再生

再生する



- 1 突然大きな音で再生しないようにフロントパネルの VOLUME コントロールを、反時計回りにいっぱいまで回す。
- 2 フロントパネルの **⏻** (電源) ボタンを押して (またはリモコンの **⏻** (電源) ボタンを押して)、オンにする。
- 3 フロントパネルの INPUT (入力) ボタンを押して (またはリモコンの入力選択ボタンを押して)、LINE または USB を選択する。
選択した入力のインジケータが点灯します。
- 4 入力ソース機器を操作して再生を開始する。
- 5 フロントパネルの VOLUME コントロールを回して (またはリモコンの VOL + / - を押して)、音量を調節する。
- 6 使用後は、フロントパネルの **⏻** (電源) ボタンを押して (またはリモコンの **⏻** (電源) ボタンを押して)、スタンバイにする。

オートスタンバイ機能

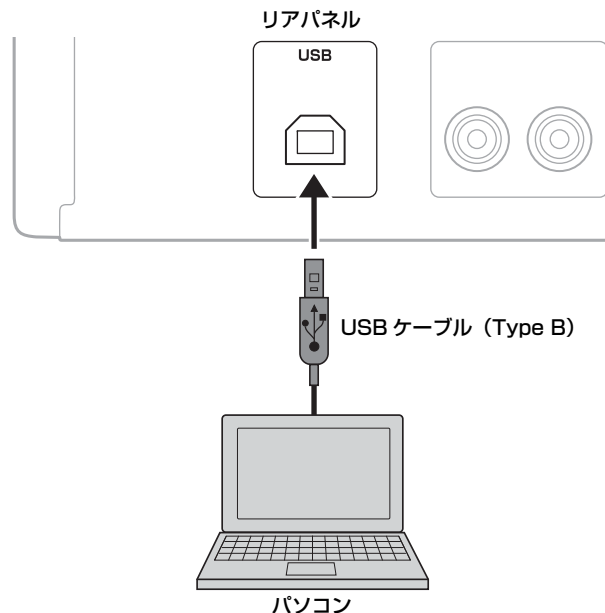
- オートスタンバイ機能は次のように動作します (初期設定)。
 - 何も操作しない状態が 8 時間以上続くと、本機は自動的にスタンバイになります。

オートスタンバイ機能を有効 / 無効にする

- 1 本機の **⏻** (電源) ボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
 - 2 **⏻** (電源) ボタンを押し続ける。
- オートスタンバイ機能の有効 / 無効が切り替わり、次のようにパワーインジケータが点滅します。
 - オートスタンバイ機能を有効にしたとき : 2 回点滅します。
 - オートスタンバイ機能を無効にしたとき : 1 回点滅します。

パソコンに保存された音楽の再生 (USB DAC 機能)

本機の USB 端子にパソコンを接続すれば USB DAC として機能し、パソコンに保存された音楽を再生できます。



■ 対応している OS

本機と USB 接続できる パソコンの OS は以下のとおりです。

Windows の場合 : Windows 7 (32/64bit) / Windows 8 (32/64bit) /
Windows 8.1 (32/64bit)

Mac の場合 : OS X 10.6.4 以降

■ ご注意

- ・上記以外の OS での動作は保証いたしません。
- ・パソコンの構成や環境によっては、上記の OS で使用しても動作しない場合があります。
- ・ドライバーをインストールする前に、パソコンに本機を接続すると、正しく動作しない場合があります。

■ 専用ドライバーをインストールする

本機とパソコンを接続する前に、専用のドライバーをパソコンにインストールしてください。専用のドライバーは、Windows のみ対象となります。Mac の場合、Mac OS の標準ドライバーで設定できます。

- 1 下記の URL にアクセスし、専用のドライバー「Yamaha HiFi USB Driver」をダウンロードし、ファイルを解凍し、実行する。

専用ドライバーソフトダウンロードページ
URL : <http://download.yamaha.com/>

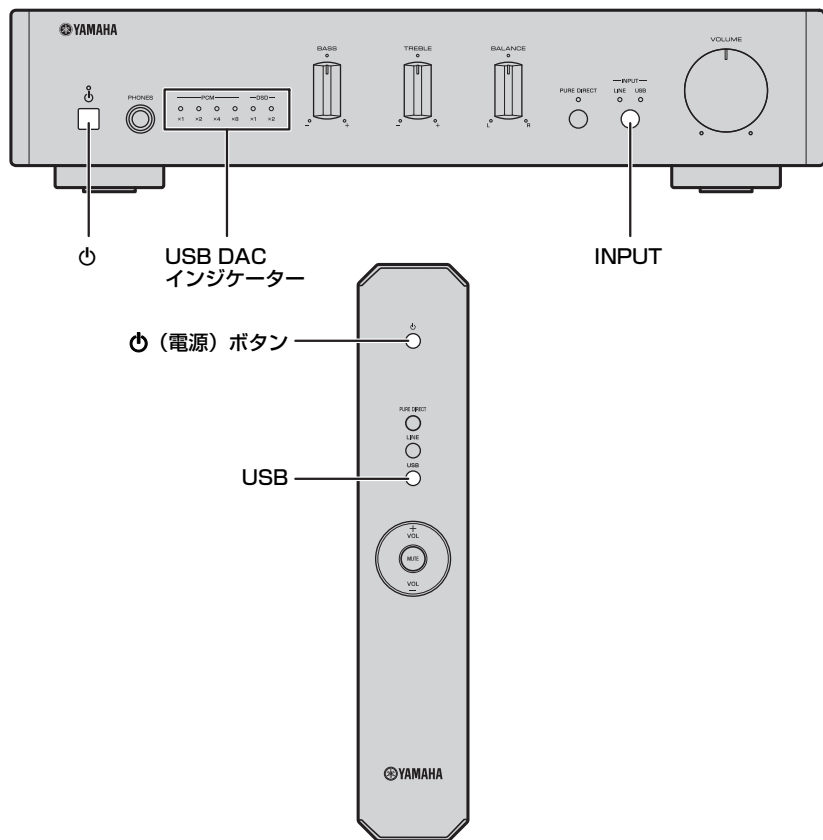
- 2 ダウンロードした「Yamaha HiFi USB Driver」をパソコンにインストールする。
詳しくは、ダウンロードしたドライバーに添付されているインストールガイドをご覧ください。

- 3 インストールが終了したら、起動中のすべてのアプリケーションを終了する。

■ ご注意

- ・ドライバーをインストールする前に本機にパソコンを接続すると、正しく動作しません。
- ・「Yamaha HiFi USB Driver」は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、「専用ドライバーソフトダウンロードページ」でご確認ください。

■ パソコンに保存された音楽を再生する



1 USB ケーブルで本機とパソコンを接続する。

2 パソコンの電源を入れる。

3 フロントパネルの **⏻** (電源) ボタンを押して (またはリモコンの **⏻** (電源) ボタンを押して)、オンにする。

4 フロントパネルの INPUT (入力) ボタンを押して (またはリモコンの USB ボタンを押して)、USB を選択する。

5 パソコンのオーディオ出力先を「Yamaha A-U670/A-U671」に設定する。

Windows OS の場合：

コントロールパネル→ハードウェアとサウンド→サウンド→ [再生] タブ

Mac OS の場合：

システム環境設定→サウンド→ [出力] タブ

設定方法は OS により異なる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

6 パソコンで音楽ファイルを再生する。

パソコンから本機に音楽信号が入力されると、再生している曲のサンプリング周波数にあわせてフロントパネルの USB DAC インジケータが以下のよう点灯します。本機に伝送可能なサンプリング周波数は次のとおりです。

	インジケータ	周波数
PCM	×1	44.1/48kHz
	×2	88.2/96kHz
	×4	176.4/192kHz
	×8	352.8/384kHz
DSD	×1	2.8224MHz
	×2	5.6448MHz

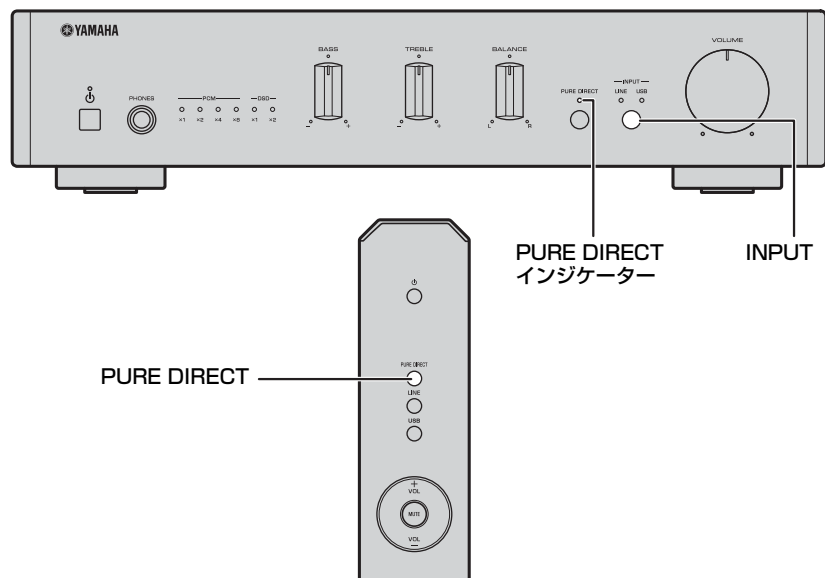
■ 音量の調整のしかた

より良い音質を得るためには、パソコンの音量を最大に設定し、本機の音量を最小から少しずつ大きくし、好みの音量に調整してください。

ご注意

- パソコンを USB ケーブルで接続して音楽を再生しているときに、USB ケーブルを抜いたり、本機の電源をオフにしたり、入力を切り替えたりしないでください。誤動作の原因になります。
- 音楽再生時のパソコンの操作音を消したい場合は、パソコンの設定を変更してください。
- 音楽ファイルを正しく再生できない場合は、パソコンを再起動し、前述の手順で操作し直してください。
- 本機から、パソコンに保存された音楽を操作することはできません。パソコンに保存された音楽の操作は、パソコン側で行ってください。

好みの音に調節する



■ 高音質で再生する (PURE DIRECT)

PURE DIRECT 機能をオンにすると、BASS、TREBLE、BALANCE の回路をバイパスし、ノイズを低減します。そのため、すべての入力ソースにおいて、ストレートで高音質な音楽再生を楽しむことができます。

フロントパネルの INPUT (入力) ボタンを長押しして (またはリモコンの PURE DIRECT ボタンを押して)、PURE DIRECT 機能のオン / オフを切り替えます。

PURE DIRECT 機能がオンのとき、インジケータが点灯します。

ご注意

PURE DIRECT 機能がオンのときは BASS、TREBLE、BALANCE の各調節機能は無効になります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は下記の点をご確認ください。対処しても正常に動作しない場合や、下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜いてからお買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

症状	原因	対策	参照ページ
本機の電源が入らない。	電源プラグが正しく接続されていない。	電源プラグを家庭用コンセントに正しく接続してください。	9
	ショートなどにより保護回路が作動した。	スピーカーケーブルが互いに接触していないことを確認して、再度本機の電源を入れてください。	9
	本機内部の回路に異常がある。	電源プラグを抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ販売店にお問い合わせください。	—
	インピーダンスの小さいスピーカーが接続されている。	正しいインピーダンス（6Ω以上）のスピーカーを使用してください。	9
本機を使用中に突然電源がオフになり、パワーインジケータが消灯する。	スピーカーケーブルが互いに接触したり、本機リアパネルの金属部分に接触している。	スピーカーケーブルを正しく接続し、本機の電源をもう一度オンにしてください。本機が起動したら、音が正常に出るか確認してください。	9
	スピーカーが故障している。	正常なスピーカーに交換し、本機の電源をもう一度オンにしてください。本機が起動したら、音が正常に出るか確認してください。	—
	過大入力をしたため、または音声出力を上げ過ぎたため、保護回路が作動した。	フロントパネルの VOLUME コントロールで音量を下げ、本機の電源をもう一度オンにしてください。	—
	本機内部の温度が上昇したため、保護回路が作動した。	約 30 分本機内部の温度が下がるのを待ち、フロントパネルの VOLUME コントロールで音量を下げ、もう一度本機の電源をオンにしてください。また、本機の放熱を妨げない場所に設置してください。	—
	本機が外部電気ショック（落雷または過度の静電気）を受けた。	本機の電源をオフにして家庭用コンセントから電源プラグを抜き、約 30 秒後にもう一度差し込んでください。	—
	本機の内部の回路に異常がある。	電源プラグを抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ販売店にお問い合わせください。	—

症状	原因	対策	参照ページ
音が出ない。	ヘッドホンを接続している。 (ヘッドホンを接続している場合は、スピーカーやサブウーファァーから音は出ません。)	スピーカーやサブウーファァーを使用する場合は、ヘッドホンを抜いてください。	—
	MUTE が有効になっている。	MUTE を解除してください。	6
	ケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルおよびスピーカーケーブルを正しく接続してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	8
	入力機器の再生が停止している。	入力機器の電源を入れ、再生を開始してください。	10
	入力が正しく選択されていない。	フロントパネルの INPUT (入力) ボタン (またはリモコンの入力選択ボタン) で入力を選択し直してください。	10
	本機と USB 接続しているパソコンにドライバーがインストールされていない。	本機とパソコンを接続する前に、ドライバーをパソコンにインストールしてください。	11
	本機の音量が最小になっている。	VOLUME コントロールで音量を上げて、音が聞こえるよう設定してください。	10
電源が切れない。	外部電気ショック (落雷、過度の静電気など) や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本体前面の電源ボタンを 10 秒以上押して本機を再起動してください (問題が解決しない場合は、コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約 30 秒後に再度差し込んでください)。	—
片側のチャンネルの音声ほとんど出ない。	再生機器やスピーカーが正しく接続されていない。	接続を確認してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	8
	BALANCE 調節が正しく設定されていない。	BALANCE 調節を適切に設定してください。	3
低音の再生不良。	(サブウーファァーを接続している場合) サブウーファァーが正しく接続されていない。	接続を確認してください。症状が改善されない場合は、サブウーファァーの設定に問題がないか確認してください。	9
	スピーカーやアンプの +/ - が逆に接続されている。	+/- を確認して、正しく接続してください。	9
	BASS (低音) 調節が正しく設定されていない。	BASS (低音) 調節を適切に設定してください。	3
ハム音が出る。	ステレオピンケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルを正しく接続してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	8
音量が小さい。	本機の音量が小さく設定されている。	VOLUME コントロールで音量を上げて、音が聞こえるよう設定してください。	10
	本機と USB 接続しているパソコンの音量が小さく設定されている。	パソコンの音量を上げてください。	—
BASS、TREBLE、BALANCE の調節が効いていない。	PURE DIRECT 機能がオンになっている。	PURE DIRECT 機能をオフにしてください。	13

症状	原因	対策	参照ページ
パソコンで本機が認識されない。	動作保証していない OS を搭載したパソコンを接続した。	動作保証されている OS を搭載したパソコンを接続してください。	11
	USB ケーブルが正しく接続されていない。	USB ケーブルを正しく差し込み直してください。	11
	パソコンまたはアプリケーションの出力が、ミュートまたは消音に設定している。	パソコンまたはアプリケーションのミュートまたは消音設定を解除してください。	—
雑音がする。	音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動した。 (音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。)	音楽ファイル再生中は、他のアプリケーションを起動しないでください。	—
音が途切れる。	音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動した。 (音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。)	音楽ファイル再生中は、他のアプリケーションを起動しないでください。	—
音楽ファイルが再生できない。	音楽ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力ソースを USB に切り替えたりしたため、音楽データが正しく再生できなかった。	音楽ファイル再生中は、他のアプリケーションを起動しないでください。	11
	専用のドライバー「Yamaha HiFi USB Driver」が正しくインストールされていない。	もう一度「Yamaha HiFi USB Driver」を正しくインストールし直してください。	11
	パソコンのオーディオ出力先が「Yamaha A-U670/A-U671」に設定されていない。	パソコンのオーディオ出力先を「Yamaha A-U670/A-U671」に設定してください。	12

主な仕様

オーディオ部

■ LINE IN

・入力端子.....RCA ジャック

■ USB

・入力端子.....USB (Type B) USB2.0 対応
・対応サンプリング周波数 (USB)
.....384/352.8/192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz
・対応ビット長.....32/24/16bit
・DSD.....2.8224/5.6448MHz

■ SPEAKERS

・最大出力 (6Ω、1kHz、10% THD) 70W + 70W
・周波数特性 (10Hz ~ 40kHz) 0±3dB
・全高調波歪率 (30W/6Ω 1kHz) 0.05% 以下

■ PHONES

・出力電圧 / 出力インピーダンス
(入力 1kHz、230mV、32Ω)..... 500mV/24Ω

■ SUBWOOFER

・出力電圧 / 出力インピーダンス
(入力 1kHz、230mV)..... 2.0V/1kΩ

総合

・電源電圧..... AC100 ~ 120V、50/60Hz
・消費電力..... 30W
・スタンバイ時消費電力..... 0.5W
・寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)..... 314 × 70 × 342mm
・質量..... 3.3kg

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または大けがを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「けがを負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。 ● 異常に高温になる。
 - 内部に水や異物が混入した。 ● 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

付属の電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。火災や感電の原因になります。修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

使用上の注意



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

接触禁止



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・
薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因に
なります。

禁止

注意

電源/電源コード



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセ
ントから抜く。
火災や感電の原因になります。

プラグを抜く



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱら
ない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

禁止



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込
む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグに
ほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

必ず実行



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセ
ントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

禁止



本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグを
コンセントから抜く。

必ず実行

本体の電源ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ
通電状態にあります。

電池



電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、
正しく入れる。

必ず実行

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因にな
ります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。

必ず実行

口に入れたりすると危険です。



指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電
池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

禁止

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入
れて携帯、保管しない。

禁止

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけ
がの原因になります。



長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜い
ておく。

必ず実行

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損
傷するおそれがあります。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、
自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

禁止

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる
場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

禁止

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、
火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因にな
ります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

必ず実行

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあ
たえるおそれがあります



機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。

必ず実行

突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動



移動をするときには電源ボタンを切り、すべての接続
を外す。

プラグを抜く

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にす
る。

必ず実行

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

禁止

聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。

禁止

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。

本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止



業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

禁止

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁

ベンジン・シンナー等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

禁止

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053)460-3409

受付:月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053)460-4830

受付:月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03)5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付:月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
※ お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17
ナンノ社本館ビル7F
FAX (06) 6649-9340

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご利用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

